

第4回 核データ・グループ会合議事録

と き： 66年11月10日(木) 13:00~17:30

ところ： 原研(東京本部第一会議室)

出席者： 神田, 西村, 若林, 五十嵐, 大田, 河原崎, 森口, 中島(豊), 更田, 岡本, 田中, 中島(龍), 井出野, 村田, 中村, (菊地)

議 事

1 前回(第3回)議事録の確認

訂正 P.1 サブグループの責任者 resonance parameter (更田)

2 新しいデータ・シートについて(田中)

○新しいデータ・シートはすでに発注されている。Computer index のデータ・シートは、データ・シートと切り離すことにした。

- データ・シート(Computer Index)の記入法, ならびにテープから引き出したデータのFORMATの説明と, それについての議論があった。最終的なFORMATは森口, 田中, 五十嵐, 河原崎できめることになる。COMPUTER INDEX, データ・シート記入についてのコメントは至急に関係者までに。

3 共鳴パラメータ等の収集(更田)

あと2週間で, INPUT FORMATをきめたい。その後データ・テープ作成のプログラムを考える。

4 データ・シート整理作業報告(井出野)

11月2, 3日に五十嵐, 若林, 中島(豊), 井出野, で整理作業をおこなった。

整理枚数~100枚

データ・シートの到着が整理作業の日にならわなかったために, 未整理となったものが~170枚あった。

次回整理作業 1月下旬

データ・シート切 1月中旬

次回メンバー 岡本, 西村, 更田, 中島(龍), 五十嵐

その他データ・シートの収集の経過, 現状を提供者に報告する必要があるとの意見があった。

- 5 炉定数グループとの協力について, 炉定数グループの中でも意見がまとまっていないので, ふたたび核データグループの意見を聞きたいとの説明があった。これに対して, での意見は
- a) 細かいこと以前に炉定数グループで何を問題にしているのかわからないので, そういう説明がほしい。
 - b) raw data と炉定数のつながりをわかりやすく, ゆっくり説明してもらいたい。たとえば, グループ・コンスタント作成のプロセス, その背景, ミクロ断面積との関係を説明してもらいたい。そうすれば, 協力関係についての, 具体的な計画が考えられるだろう。
 - c) 上の説明と同時に今迄作ったリクエスト, 炉定数グループのグループ・コンスタント作成の作業を説明してもらいたい。

これらの提案を五十嵐 氏から炉定数グループにしてもらうことになった。

6 Evaluation の問題 (中島(龍))

Pb, C の standard cross section (0~4MeV) をつくることを中島, 更田が推進したい。その他に, 五十嵐を中心に ELIESE による非弾性散乱の検討がされているが, こういった試みをもっている方があったら, こうでどんどん出してもらいたい。

7 その他 (五十嵐)

Progress Report を来年初めに EANDC に出せるなら出したい。

8 予算 (中島(龍))

炉定数の赤字うめ合せに計算費の一部をまわすことになったため今年度の計算費は次の通りである。

fission 関係	100万
ELIESE	50万

Moldauer 関係 12万

その他： JNDC ニュース版3，が11月末に出る。

松延さんは炉定数グループに入ってもらったことになった。

次回 — 12月20日(火)東京